

聴力を脳波で調べる検査 概要

聴力の低下が認知症発症と非常に関係があるということが、2017年の国際アルツハイマー学会でも発表されています。

当院では、認知症の発症リスクを超早期に発見することを目的として、脳波の反応で手軽に聴力を調べることのできるヘッドホン型の「聴覚賦活脳波計」を開発、この計測機による検査のモニターを募集することになりました。

<検査方法>

- (1) ヘッドホン型の脳波計をつけます（右図参照）。
- (2) 検査が始まるとヘッドホンから音が流れます。
- (3) 音を聴くだけです。何もする必要はありません。

*検査は約5分間で終了します。

<結果>

- (1) 結果をグラフなどで後日、お知らせします。

*ただし今回の結果は、認知症リスクを判定するものではありません。



脳波計とは、脳内に流れる微弱な電流を電極から拾って増幅する装置のことです。脳内に電流を流すものではありませんので、何ら健康被害はありません。ご安心ください。

<ご理解いただきたいこと>

- (1) 任意のモニター検査ですから、検査に伴う費用は一切発生しません。
- (2) 検査データは、認知症の発症リスクを超早期に発見する目的の解析に利用させていただきます。
- (3) 検査データは、当法人の個人情報保護規定に基づいて利用されます。

*検査データと個人が結び付けられることは、ありません。



検査実施責任

医療法人社団folkモア 事務センター 横浜市港北区新横浜 4-14-4
実施場所 045 (476) 1615
クリニック医庵センター南